



インディアナ日本語学校便り

学校教育目標 自ら学び、正しく行動する国際性豊かな児童生徒の育成

運動会 高校生の活躍 高校生の働きが、運動会を支えてくれました。



たくさんの使用用具。左上のボードに各種目準備図を次々に張り替え、時間通り進むように用意・設置・片付け。一番重い綱。



保護者種目「ムカデ」ひもをつけやすく準備 各学部の競技のお手伝い 風船は「おしりでバンバン」 リレーアンカー



バルーン用具準備



決勝 ゴールテープ 走り終わった後 着順へ誘導



得点集計 途中経過 表示



放送係 実況 リクエスト選曲



マイク係

各赤・白組の団長

運動会の目標は、「仲良く、最後までがんばる。」でした。ボードを作って応援するクラスもあり、子どもたちは演技や競技で一生懸命に協力して、とてもすばらしい運動会を作り上げることが出来ました。これを支えてくれたのは、なんとといっても高校生の働きです。高校生は、高等部の先生みつ ぶんたんひょうのち密な分担表をもとに、運動会のための打ち合わせ会議を持ちました。当日、どの生徒もそれぞれの役割を持って、積極的に一日中動き回りました。おかげでプログラムの進行がスムーズに進み、10分以上早く閉会式を終えることが出来ました。ありがとうございました。



《先生たちから高校生へのメッセージ》

- ・打ち合わせの時間がすごくわずかな中、とてもスムーズに運営ができていた。高校生の力があってこそ！
- ・教えている子どもたちが、数年後このような立派な姿になることを楽しみにしている。よいお手本を見せてくれた。
- ・限られた時間や人数の中で、大変よくまとまっていた。
- ・高校生の細かいところまで、本当に行き届いた素晴らしいチームワークを見ることが出来た。
- ・放送係の実況のアナウンスが上手で、盛り上げてくれた。徒競走や競技に合わせて、応援する放送がすばらしく、楽しかった。
- ・用具をてきぱきと運んでくれていた。・風船を工夫して押さえてくれていた。重い綱をまっすぐにすぐにしてくれた。・競技が終わった後の片付けもご苦労様でした。
- ・ゴールテープの担当の生徒は、走ってくる子の首にテープが絡まないように、怪我をしないように気を遣ってレースごとに高さを調節していて、気配りがすごいと思った。
- ・ゴールにお兄さん・お姉さんが待っていてくれて、並ばせてくれた。積極的に、下の子どもたちの面倒もよく見ていて、感心した。
- ・得点係の生徒たちは、競技が終わるごとに点数の計算を、確実に責任を持って計算してくれた。
- ・全体の前に出て、ラジオ体操のお手本が、上手にできていた。よく覚えていたなと思った。
- ・最後の競技のリレーは迫力があって、みんなが盛り上がった。子どもたちが、お兄さん、お姉さんがかっこよかった。」と、とても感動していた。私たち大人にも感銘を与えてくれた。
- ・3年ぶりの運動会だったので、高校生全員にとって初めての運営でしたが、素晴らしい働きでした。自分の担当だけではなく、手が空いている時には他の係を助ける姿は本当に頼もしい限りでした。皆さんのことを誇りに思います。

※幼稚部が、万国旗を作ってくれました。フェンスに飾り付けました。

※「おしりでバンバン」の競技に、中学3年生がお手伝いをしてくれました。そのお陰で、競技がスムーズに運びました。

《当日のボランティア》

救護のお医者さんには、けがの手当てをしていただきました。校長として、安心して運動会の子どもたちが競技にがんばる様子を応援することができました。そして、保護者の会の方には、未就学児競技の参加賞準備や蜂トラップ、ゴール後の規制ロープ、会場飾り付けをやっていただきました。また、幼稚部・1、2年生のクラスペアレンツの方々には、園児・児童のトイレや安全を支援していただきました。さらに、運営委員さんには、高校生とともに用具、スターター、保護者競技の進行、安全パトロールの方と駐車場誘導、最後まで全体後片付けなど様々な面で助けていただきました。



3年ぶりの運動会開催でしたが、みなさんのお力を借りて、運動会が成功し大変お世話になりました。本当に、インディアナ日本語学校の設立から40年の伝統を感じました。

このボランティアという言葉は、どこの国の言葉でしょうか。ボランティアとは、英語です。語源はラテン語のボランタスで、もともと「自由」とか「正義」、それに「勇気」という意味を持つ言葉です。

ボランティア活動とは「自由」な活動です。ボランティア活動は、他の人々の幸せのための活動です。それも「広く大勢のため」というみんなが喜ぶような活動をさします。そして、ボランティア活動は、報いなど期待しない無償性の特徴があり、自分が自発的に活動して世の中の人々に喜んでもらえる、そのこと自体が自分の喜びと感じる大きな心の状態を言うものです。

アメリカには、「サービスはシークレットにやれ。」という言葉があります。サービス、つまり奉仕は他人に知られないようにシークレット、つまり秘密にきなさいということです。ボランティアの心は、まさに「シークレット・サービス」の心です。「見てください。私が日常の生活の中で地域の清掃をしたのです。褒めてください。」というような素振りが少しでもあれば、それは真にボランティアではないということです。つまりボランティア活動とは活動そのものも大切なのですが、活動の心が非常に大事だとありました。

運動会で高校生全員が「自分が、学校のために役立っている。行事を支えている。」とやりがいを感じているようで、むしろ楽しんでやっている姿でした。無事に終わって、どの生徒の表情にも充実感があり、一つの目的のもとに活動して、お互いに仲良くなったようです。

普段は勉強に忙しい高校生ですが、行事を通して、一つ成長したことと思います。これからも、下級生からのあこがれの上級生でいてほしいです。

【子どもの作品】「ランドセルは海をこえて」 200～300字感想文 4年2組

西田 菜々子

わたしの心にのこった文は、「だれもが学校へ通うためのかばんや文具をそろえられるわけではない。だから、おくられたランドセルは、学校へ通う小学生のたから物になる。」です。なぜなら、日本で使われなくなったランドセルがアフガニスタンの子供たちに使われていることを初めて知っておどろいたからです。日本は、新品のランドセルやきれいなえん筆、消しゴムとノートがそろっていて特別な国だと思いました。そして、わたしは大事に物を使おうと思いました。わたしがランドセルを使い終わった後、アフガニスタンに送りたいです。そのことで、アフガニスタンの人たちがよろこんでくれたらうれしいです。

ワウグナー 晴

ぼくは、「ランドセルは海をこえて」を読んで、アフガニスタンの子供たちがランドセルをもらうところが心のこりました。それが心にのこった理由は、子供たちがランドセルをもらったとき、ものすごくうれしそうにしていたからです。その写真を見て、ぼくも少しうれしくなりました。アフガニスタンの学校には最初からつくえがなかったので、子供たちはランドセルをつくえとしても使っています。そうしたら、もうちょっと書くのがかん単になります。

長瀬 好

わたしは、「ランドセルは海をこえて」を読んで知ったことは、アフガニスタンの小さい子供たちがちゃんとせいびされていない学校に通うことと、文ぼう具が買えないことです。国がちがうだけで、こんなに生活かんきょうがちがうことにおどろきました。学校に行くことは、わたしにとって当たり前で、勉強はしないといけなく、イヤイヤながらでもやる事です。教育は、大人になって働くために必要なもので、みんなが教育を受けられるようにもっと大人ががんばるべきだと思います。

『きいてきいてみよう』 5年1組

「ゲーム実況をするには」 佐藤 智建

ぼくは、ゲーム実況グループ「三人称」のみなさんにインタビューをするため、彼らがユーチューブで配信しているラジオに質問のメールを送りました。

三人称は、ユーチューブでゲームの状況を配信している三人組です。彼らのチャンネルの登録者数は約五十四万人です。ぼくは、将来、ゲーム実況をしてみたいので、ユーチューブで視聴者からの質問に答えてくれる三人称にインタビューしました。

何個か質問した中で、一番印象に残った答えは、プレイするゲームの選び方について、でした。ぼくは、得意ではないゲームも実況した方が良いのではないかと考えていましたが、彼らの答えは「自分の興味があるもの・面白そうだったもの」でした。ゲーム実況の依頼がきても、断ることもあるそうです。

また、たくさんの人を笑わせるにはどうしたら良いかという質問には、「実際に視聴者が笑ってくれているかは分からないが、グループで実況をしているから、仲間を笑わせようという気持ちがある。グループである強みだと思う。」という答えをもらいました。ぼくも、グループで実況をしたいと思っているので、仲間を笑わせるという考え方がとても良いと思いました。

動画や配信では、面白おかしくゲームをしている三人称さんですが、動画作りにたくさんの事を考えて、一生懸命取り組んでいることが分かりました。

「ジャザサイズ」 堀尾 心那

わたしは、母にジャザサイズのことについて聞きました。ジャザサイズは、家で運動ができない人にもきてもらって、みんなで運動をする所です。ジャザサイズは、運動をしながら、ダンスをします。音楽に合わせておどります。おどりは、歌によってきめられています。わたしの母は、インストラクターでジャザサイズを教えています。

まず、私が母に質問したのは、どうしてジャザサイズを始めたかということでした。母は、「お母さんも、最初はお客さんから始めたけれど、とても楽しかったからインストラクターになることにしたんだよ。」と教えてくれました。次に、ジャザサイズの中で何が一番楽しいかという質問をしたところ、「お母さんが運動を教えているときに、お客さんが良い運動になったと言ってくると、とてもうれしい。」と言っていました。三つ目の質問は「お母さんがジャザサイズを変えろとしたら、何を変えろ？」というものでした。母は、「日本語の歌が一つしかないから、もっと日本語の歌が欲しいな。」と言いました。最後に、母にとって、ジャザサイズは何なのかという質問をしたら、お母さんは「家以外のもう一つの居場所だよ。」と答えました。

わたしもインストラクターになれる年れいになったら、インストラクターになってジャザサイズを教えたいと思いました。

「お父さんの仕事」 山口 帝臥

ぼくのお父さんは、スバルで車を組み立てる工程を考え、実際に工場で車を作り始めた時に起きる問題を解決する仕事をしています。毎日、おそくまで仕事をしています。ぼくはまだ「仕事」ということがよく分からないし、それがどれくらい大変なのかも分かりません。だから、ぼくは今回、お父さんに「仕事」についてインタビューすることにしました。

ぼくのお父さんは、おじいちゃんの影響を受けてスバルの車が好きになり、おじいちゃんの好きな車を自分がつくりたいと思って会社に入ったそうです。いままでに、四台の車の開発に関わり、自分がつくりたいと思った車が出来上がり、仕事にやりがいを感じていると話してくれました。また、難しい問題を解決したときの達成感は素晴らしいようです。お父さんの目標は、みんなにかっこいいと思ってもらえる車を、手に入りやすい値段で、みんなに届けることだそうです。

お父さんは、インタビュー中、分かりやすい言葉で、とても真剣に答えてくれました。お父さんの仕事への熱い思いが伝わってきました。話の中で、「仕事は大変だけど、仲間が助けてくれる。」と言っていたので、仕事もみんなで助けあってするものだということがわかりました。ぼくもお父さんのように、熱い思いをもって仕事ができる人になりたいと思いました。

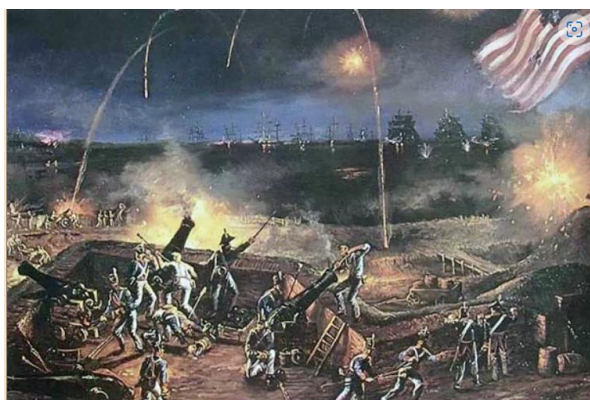
アメリカ国歌「^{せいじょうき}星条旗」 The National Anthem of the United States of America ^{アメリカ文化理解}

アメリカ国歌といえば「星条旗」 野球のメジャーリーグでは試合開始前にアメリカ国歌『The Star-Spangled Banner』が歌われています。また、今年のインディアナポリスの「インディ500」の時も始まる最初に歌われていました。色々な有名な歌手が歌った^{はくりよくまんてん}迫力満点の「星条旗」を聞いたことがある人もいると思います。^{いさ}勇ましい曲で、歌詞はわからなくてもその歌声になぜかジーンと胸にくるものがあります。また、アメリカ人にとっては国歌への敬意を表して起立・^{けい}脱帽するのが一般的です。

さらに、歌の成り立ちを知れば、歌を聞いている時の感じ方も変わるでしょう。



アメリカの国歌の成り立ち

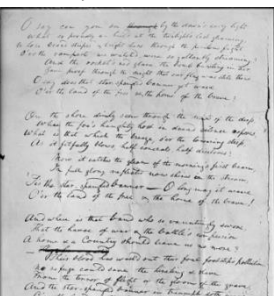
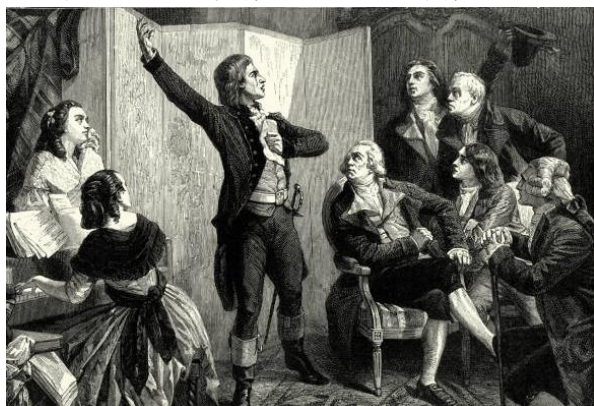


挿絵：イギリス海軍の艦砲射撃に耐え抜いたマクヘンリー砦と星条旗



← 現代のマクヘンリー砦と星条旗

アメリカの国歌が生まれたのは、1814 年 9 月のことです。当時、^{べいえいせんそう}米英戦争で優勢だったのはイギリス軍でした。^{しゅと}首都であったワシントン D.C.をも^{かんらく}陥落し^{いきお}勢いに乗るイギリス軍。そんな中、ボルティモア港のマクヘンリー^{とりで}砦では、アメリカ軍がイギリス海軍によって^{ほうい}包囲され、^{ぜったいぜつめい}絶体絶命という大ピンチ。そのような状況の中、捕虜になった友人の^{いし}医師を助けるため、^{ていこくぐんかん}フランシス・スコット・キーはイギリス帝国軍艦に^{こうしょう}乗りこみます。交渉の末、キーと友人^{かいほう}医師は解放されることとなりますが、そこで一晩^{ひとばんこうそく}拘束されてしまいます。解放を待つ間、アメリカの砦はイギリスの^{ていこくぐんたい}帝国艦隊から夜の間中、^{たいほう}大砲の^{こうげき}攻撃を受け続けました。その大砲を打つ音を聞きながら不安な夜が明け、^{かんらく}陥落されたと思われたマクヘンリー砦は？ あの激しい戦いにもかかわらず、なんと砦の上に、朝日の中でアメリカ国旗である「星条旗」がどうとうとうと光り輝きたなびいているではありませんか。



フランシス・スコット・キー 直筆の歌詞

まだ砦は守られているとわかる星条旗を見たフランシス・スコット・キーは、これに感動し、思わずこの「星条旗」をたたえる「マクヘンリー砦の防衛 (The Defence of Fort McHenry)」という^{いっぺん}一編を書き上げたのでした。

その後、アメリカで大変人気があった「天国のアナクレオンへ」のメロディで歌われるようになりました。

それ以後、軍関係の式典などで演奏されていました。そしてハーバート・フーヴァー大統領の時の 1931 年 3 月 3 日に、この「星条旗」が、アメリカ合衆国の国歌として正式に採用されました。



《歌詞の意味》 1 番

1. Oh, say can you see,
by the dawn's early light
What so proudly we hailed
at the twilight's last gleaming?
Whose broad stripes and bright stars,
through the perilous fight.
O'er the ramparts we watched
were so gallantly streaming? Oh, say
does that star-spangled
banner yet wave.
O'er the land of the free
and the home of the brave!
And the rockets' red glare,
the bombs bursting in air,
Gave proof through the night that
our flag was still there,

おお、見えるだろうか、

夜明けの薄明かりの中

われわれ ほこ こわだか さけ
我々は誇り高く声高に叫ぶ

きなん
危難の中、城壁の上に

お お ひるがえ
雄々しく翻る

しま かが われわれ ほうだん
太き縞に輝く星々を我々は目にした砲弾

ちゆう さくれつ
が赤く光を放ち宙で炸裂する中

われら ひるがえ
我等の旗は夜通し翻っていた

ああ、星条旗はまだたなびいているか？

ゆうしゃ こきよう
自由の地 勇者の故郷の上に！



(2 番以下省略)

アメリカ人は「国を思う気持ち」が強い国民性です。この「星条旗」の歌が、どんな状況の中で生み出されたのかその背景を知ると、歌詞の意味が理解でき、アメリカ人の愛国心を感じることができます。



【お知らせ】

〈漢字検定〉10 月 29 日 14:30 開始 ※対象 申込者

申し込みをして、当日受ける子どもはお迎えが必要になります。

〈終了時刻〉 8 級 9 級 10 級 15:10 2 級～7 級 15:30

ピックアップの保護者の方は、駐車場に車を止め、ロビーでお待ちください。ロビーで引き取りとなります。

本日の配布物 なし